

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフリーフ支援教室		
○保護者評価実施期間	R8年 6月 1日 ～ R8年 6月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 1人
○従業者評価実施期間	R8年 6月 1日 ～ R8年 6月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 7月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ PECS (絵カード交換式コミュニケーションシステム) を活用しての療育。	・ 利用者の様子を観察しながら必要に応じて、絵カードの大きさ等を変えたり環境設定を行っている。	・ 利用者の好きな物・事(強化子)を見つけ、絵カード交換ができる種類、機会を増やす。
2	・ PECSを実施し保護者へその場で説明レクチャーしている。	・ 親子療育の為、保護者にもその場で実施してもらえる機会が作れている。 ・ 絵カードとスケジュールボードの提供を行っている。	
3	・ サービス担当者会議実施時に、リーフでの療育についての資料を準備している。	・ 会議が開催される時には必ず、「個別支援計画」「半年の評価」「専門的支援実施計画」「支援のポイント」等を作成し現地にて配る様にしている。	・ 会議の際、必要であれば保護者同意の上、支援中の動画を撮り持ち込む事もある。 ・ 要望があれば他事業所の方にPECSの伝達を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 集団活動が設けられていない。	・ マンツーマンでの利用の為、集団活動がない。	・ 実施時間帯に別の利用者を受け、関わる機会を設ける。
2			
3			